

# えんぎ チーム演技

## 01 ぐんま けんりつ ろうがっこう 群馬県立聾学校 Bチーム(群馬県)

初出場

■演技タイトル／  
笑顔

■演技内容／演劇 ■メンバー人数／4人

▼動画はこちら



## 02 とつとり じょうほく こうとう がっこう 鳥取城北高等学校(鳥取県)

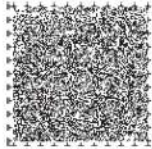
7回目

■演技タイトル／  
『ひまわり』

■演技内容／絵本語り ■メンバー人数／2人

▼動画はこちら





# えん ぎ チーム演技

## 03 よな ご ひがし こう とう がっ こう 米子東高等学校(鳥取県)

4回目

■演技タイトル/  
出会いと応援

■演技内容/ダンス・演劇 ■メンバー人数/20人

▼動画はこちら



## 04 た つる はま こう とう がっ こう 田鶴浜高等学校(石川県)

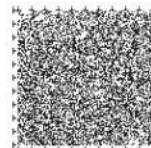
9回目

■演技タイトル/  
「ここ」の魅力、みんなに届け。「そこ」の魅力、私に教えて。

■演技内容/歌唱・演劇 ■メンバー人数/8人

▼動画はこちら





05 かな ざわ ほく りょう こう とう がっ こう  
金沢北陵高等学校(石川県)

2回目

■演技タイトル／

Thank you for meeting me.

■演技内容／歌唱・ポエム ■メンバー人数／9人

▼動画はこちら



06 なる お こう とう がっ こう  
鳴尾高等学校(兵庫県)

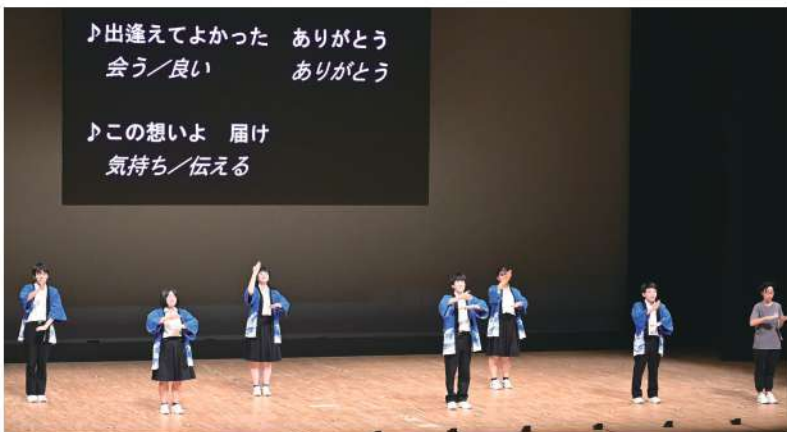
2回目

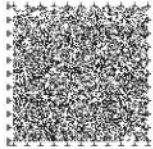
■演技タイトル／

ともに～きこえの違いを超えて～

■演技内容／歌唱・演劇 ■メンバー人数／18人

▼動画はこちら





# えん ぎ チーム演技

## 07 あお もり ろう がっ こう 青森聾学校(青森県)

2回目

■演技タイトル/  
世にもズレてる物語

■演技内容/演劇・コント ■メンバー人数/10人

▼動画はこちら



## 08 しず おか じょう ほう こう どう がっ こう 静岡城北高等学校(静岡県)

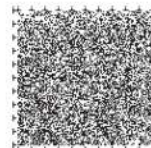
初出場

■演技タイトル/  
SDGs食品ロス削減のために私たちができること

■演技内容/演劇 ■メンバー人数/3人

▼動画はこちら





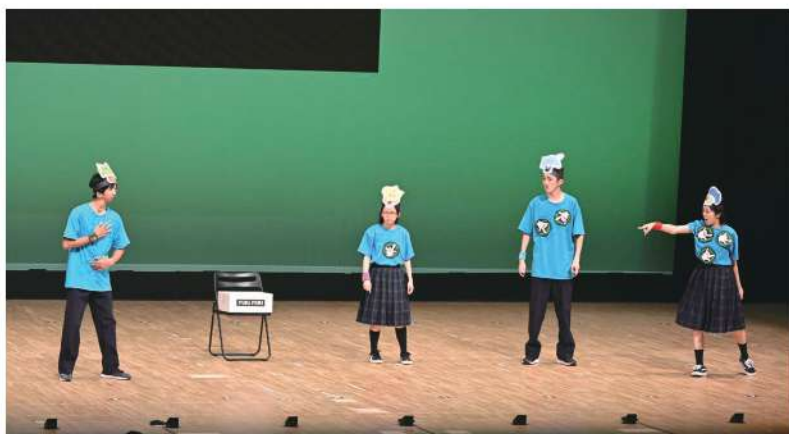
09 まつ やま ろう がっ こう  
**松山聾学校**(愛媛県)

4回目

■演技タイトル/  
私たちの“ことば”

■演技内容/演劇 ■メンバー人数/6人

▼動画はこちら



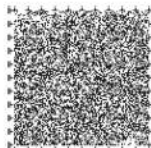
10 さか ど がく えん 3回目 おお みや がく えん 初出場  
**坂戸ろう学園**(埼玉県)・**大宮ろう学園**(埼玉県)

■演技タイトル/  
夜明けのカラフル

■演技内容/演劇・ポエム ■メンバー人数/8人

▼動画はこちら





# えんぎ チーム演技

## 11 よこ はま なん りょう こう とう がっ こう 横浜南陵高等学校(神奈川県)

5回目

■演技タイトル／

十花十色～みんな違ってみんないい～

■演技内容／演劇 ■メンバー人数／18人

▼動画はこちら



## 12 な ら けん りつ がっ こう 奈良県立ろう学校(奈良県)

9回目

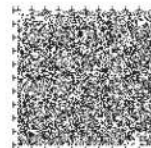
■演技タイトル／

青い鳥

■演技内容／演劇 ■メンバー人数／4人

▼動画はこちら





# 13 み い こう とう がっ こう 三井高等学校 (福岡県)

6回目

■演技タイトル／  
『わかりません…。』

■演技内容／歌唱・演劇 ■メンバー人数／14人

▼動画はこちら



# 14 くま もと ろう がっ こう 熊本聾学校 (熊本県)

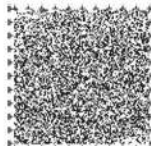
8回目

■演技タイトル／  
『その手が生み出すもの』

■演技内容／演劇 ■メンバー人数／4人

▼動画はこちら





# えんぎ チーム演技

## 15 とつ とり ろう がっ こう 鳥取聾学校(鳥取県)

6回目

■演技タイトル／  
禍を転じて手話を聴く～五感でつながる私たちの絆～

■演技内容／演劇 ■メンバー人数／8人

▼動画はこちら



# じ もと こう こう せい きょう ど げい のう 地元高校生による郷土芸能

## ● くら よし のうぎょうこうとう がっ こう そうのうたい こ ぶ たけのりくみきよく 倉吉農業高等学校 倉農太鼓部「武則組曲」

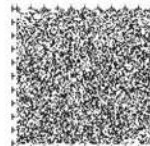
平成6年の創部以来、全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門に幾度も鳥取県代表として出場。国内外の様々なイベントで公演を行っています。  
出場チームの熱意に負けない迫力のパフォーマンスで会場を魅了しました。

▼動画はこちら





# ゲストパフォーマンス たい かい こう しき おう えん 大会公式応援ソング



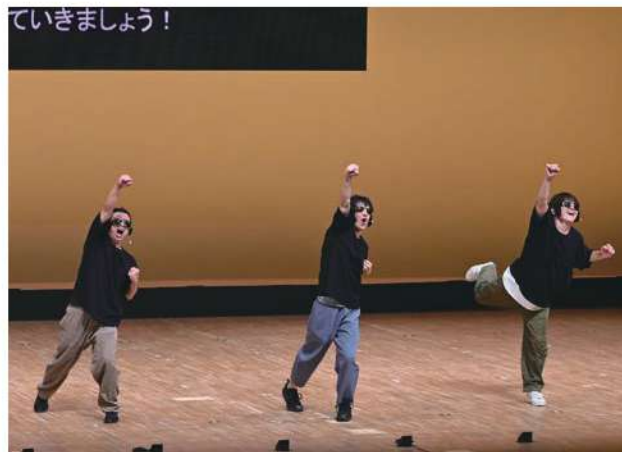
## ゲストパフォーマンス

▼動画はこちら



### ● しゅ わ はっしん だん おいおい 手話エンターテイメント発信団oioi

手話を通して様々な事業を行う手話エンターテイメント集団。「きこえる人」と「きこえない人」の間にある壁(バリア)を壊す(クラッシュ)ことを目標に、メディアやステージパフォーマンスなど様々な分野で活動しています。ステージでは、参加チーム選手を巻き込んだ手話パフォーマンスで会場を盛り上げました。



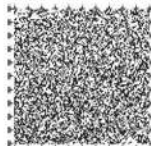
## たい かい こう しき おう えん 大会公式応援ソング

### ● だい かい ぜん こく こう こう せい しゅ わ こう し えん こう しき おう えん 第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 公式応援ソング

## はん ど さい ん おも つた HANDSIGN「どうやって想い伝えようか」



- 作詞:TATSU・SHINGO・草川瞬
- 作曲:草川瞬・KAY
- 編曲:KAY



## たい さく バリアフリー対策

障がいのあるなしに関わらず、誰もが楽しめる大会とするため様々なバリアフリー対策を行いました。

### ● YouTubeライブ配信 はいしん

コロナ禍でも大会を楽しむことができるよう、以下の情報保障を行い、YouTubeでライブ配信を行いました。

- ・手話通訳・要約筆記の配置  
配信画面中に、分かりやすく、見やすいように、手話通訳・要約筆記を表示しました。
- ・音声ガイド  
ステージの様子を実況しながら伝える「音声ガイド」ありなしの2種類を配信を行いました。



今一度大きな拍手をお願いします。  
第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の優勝は

### ● とうめい ちやくよう 透明マスクの着用

来場者間で十分な距離を取るなど感染症対策を行った上で、コミュニケーションを取りやすい環境となるよう全方位フィット構造の透明マスクを着用しました。



### ● ちらし など おんせい てんぶ チラシ等への音声コード添付

チラシ、プログラムなどの配布物に内容を音声で読み取りができる「音声コード」を添付しました。

## しん がた かん せん しょう たい さく 新型コロナウイルス感染症対策

コロナ禍での大会開催にあたり新型コロナウイルス感染症対策を徹底しました。

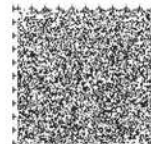
### ● らいじょうしゃ せいげん 来場者の制限

会場への来場を、出場チームおよび関係者のみに制限しました。来場する全ての出演者・関係者・スタッフが、抗原検査を行い、検査結果が陰性であることを確認した上で来場しました。また、大ホール内の来場者の座席は、前後1列・左右1席空けるなど、三密対策を徹底しました。

### ● ちやくよう けんおん て ゆびしょうどく マスクの着用・検温・手指消毒

大会2週間前から全ての出演者・関係者・スタッフの健康確認を行うとともに、大会当日は、マスク着用の徹底、検温および手指消毒を行いました。また、対面したコミュニケーションが行われる昼食会場等には飛沫防止としてパネルを設置しました。

# かい じょう もよお 会場の催し



## ● かいこうせいはんばい 高校生販売コーナー

地元鳥取県の高校生(倉吉農業高等学校)による  
実習製品などの販売を行いました。



## ● とっとりろうがっこうしゃしんてん 鳥取聾学校写真展

鳥取聾学校が撮影した写真10点を展示しました。



## ● えん Olu 'olu縁ま〜と。 (あいサポートマルシェ)

障がい福祉サービス事業所5店舗が出店し、  
飲食物などの販売を行いました。



## ● しゅわ こうしえん 手話パフォーマンス甲子園PRコーナー

## ● しゅつじょう 出場チームPRコーナー

大会紹介及び第1回大会からの大会の様子を写したパネル  
展示、出場チームの学校パンフレットの展示を行いました。



## ● きょうさん きぎょう だんたい 協賛企業・団体PRコーナー

大会に多大な協賛をいただいた企業・団体様の  
ポスター・チラシ展示などを行うPRブースを設置しました。



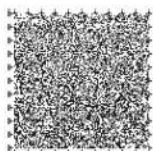
## ● 出場チームへの応援メッセージコーナー

協賛企業の明石S.U.C様の御協力により、出場チームへの  
激励メッセージを募集し、当日会場に掲示しました。



## ● しゅわ こうしえんこうしき はんばい 手話パフォーマンス甲子園公式グッズ販売コーナー

大会の記念に公式グッズの製作・販売を行いました。



第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園  
審査員長を務めました、庄崎隆志です。

受賞された皆さんおめでとうございます。

今回、3年ぶりにリアルにこの舞台に集って  
いただきました、15チームの本当に感動的なパ  
フォーマンス、私たちにも伝わってきて本当に審  
査員一同、一生懸命審査を行いました。

今回の15チームの、バラエティに富んだ発表  
は、以前と比べると非常にレベルも上がってきた  
な、という風を感じております。時間の関係で、優  
勝の坂戸ろう学園・大宮ろう学園の講評のみさ  
せていただきたいと思います。

「夜明けのカラフル」ということで、やはり歴史  
的にろう教育が非常に厳しい口話教育だったと  
いうことで、そういった題材をテンポよく、非常  
に楽しく、コミカルに、リズムカルに皆さんが自由  
に舞台上を動き回って、非常に私の心にも伝わ  
ってきました。特に、手話ポエム、これがまた魅  
力的でした。非常に感動しました。

他のチームの皆さんも体を使った表現です  
か、また、手話表現、非常に魅力的な内容が盛  
りだくさんでして、審査員達も非常にそこは審  
査に苦勞しましたけれども、皆さんの演技を見て私  
たち元気をいただきました。本当にありがとうご  
ざいます。

今回は無観客開催でした。

次回は、本当に高校生、リアルな舞台に、また  
お客様も来ていただいた舞台に是非立って  
いただきたいと思います。

そうするとこの会場は、手話の拍手が非常に  
会場いっぱいになります。

今回大会運営に関わってくださった皆様、ま  
たスタッフの皆様、関係者の皆様、本当にありが  
とうございました。また、佳子内親王殿下も御臨  
席いただきまして本当にありがとうございます。ま  
た来年もここで皆さんお会いしましょう。ありが  
とうございました。